

## (2) 対策

### ア 数値目標

項目	現状値	目標値	目標値の考え方	出典
周産期死亡率 (出産千人当たり)	3.2 (2022年)	3.0未満 (2029年)	過去最高の水準(2018年)で設定	厚生労働省 「人口動態統計」
妊産婦死亡数	0.7人 (2020~2022年平均)	0人 (毎年)	過去最高の水準(2021年)で設定	厚生労働省 「人口動態統計」

### イ 施策の方向性

#### (ア) 分娩取扱施設

- 東部、中部、西部の3地域を単位とした地域の周産期医療施設のネットワークによる持続的な周産期医療体制の整備を進めるため、地域の中核となる総合周産期母子医療センターや地域周産期母子医療センターへの支援を行うとともに、地域における周産期医療施設の機能分担による施設間の連携等、地域の実状に即した持続可能な医療体制を各地域で検討します。
- 産科救急患者の受入を担い、総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターの負担を軽減する機能を有する産科救急受入医療機関を支援します。
- 周産期医療と母子保健を地域全体で支えられるよう、総合周産期医療、地域周産期医療、正常分娩の各医療機能を担う医療機関と、分娩を取り扱わないが妊婦健診や産前・産褥管理・産後ケアを実施する医療機能を担う医療機関の役割分担を検討します。
- 医療勤務環境改善支援センター事業により医療機関の宿日直許可の取得を支援します。
- 高度な周産期医療の提供や分娩取扱が可能な施設までのアクセスが容易ではない地域等における妊産婦のアクセス確保に向けた対策を実施します。
- 新たに分娩を取り扱う施設や母子の心身の安定・安全の確保を図るための分娩取扱施設における施設や設備の整備を支援する助成を行います。

#### (イ) 周産期医療従事者

- 魅力ある研修プログラムを提供し、県内での周産期医療に携わる専門医の養成を図るなど、静岡県医師確保計画に基づき、医師の確保及び偏在対策に努めます。
- また、看護職員に対する認定看護師(新生児集中ケア、小児救急看護等)資格取得支援を行う医療機関に対する支援を行います。
- 分娩を取り扱う産科医及び助産師並びに新生児医療担当医に手当を支給する病院に対して助成を行うなど、産科医、新生児医療担当医等の処遇の改善を支援します。
- 周産期医療従事者の専門的な知識習得や、初期研修医の産科、新生児科へのリクルート、助産師の資質向上及び助産師と産科医、産科以外の診療科の医師との連携強化、母体急変時の初期対応の習得などを目的とした研修会を開催します。また、周産期死亡率、妊産婦死亡数の減少のため、県内の母体・児の死亡症例の状況等について調査・分析し、症例の検討を通して得られた知見や治療方針を医療従事者で共有することで、周産期医療体制の強化を図ります。
- 浜松医科大学に設置した地域周産期医療学講座における周産期医療に携わる人材の養成を引

## (5) 関連図表

### ○指標による現状把握

指 標	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2019年	2020年	2021年	2022年	2020～ 2022平均
出生数	37,045	35,345	35,794	31,908	31,896	28,352	23,457	22,497	21,571	20,575	21,548
合計特殊出生率	1.60	1.48	1.47	1.39	1.54	1.54	1.44	1.39	1.36	1.33	1.36
周産期死亡率（出生千対）	10.3	7.8	5.6	5.0	4.2	3.7	3.7	3.5	4.0	3.2	3.6
全国平均	11.1	7.0	5.8	4.8	4.2	3.7	3.4	3.2	3.4	3.3	3.3
全国順位	11	37	22	28	24	25	30	27	40	21	-
妊娠22週以後死産率（出生千対）	8.6	6.4	4.5	3.8	3.3	3.0	2.8	2.8	3.1	2.5	2.8
全国平均	9.2	5.5	4.5	3.8	3.4	3.0	2.7	2.5	2.7	2.7	2.6
早期新生児死亡率（出生千対）	1.7	1.4	1.1	1.2	0.8	0.7	0.9	0.7	0.8	0.7	0.8
全国平均	1.9	1.5	1.3	1.0	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6
新生児死亡率（出生千対）	2.3	2.1	1.5	1.8	1.1	0.9	1.4	1.0	1.3	0.9	1.1
全国平均	2.6	2.2	1.8	1.4	1.1	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8
全国順位	11	20	11	24	28	28	43	27	44	35	-
35歳以上の出産数	2,814	3,101	3,907	4,726	7,057	7,278	6,356	6,076	6,034	5,744	5,951
出生千対	76.0	87.7	109.2	148.1	221.3	256.7	271.0	270.1	279.7	279.2	276.2
妊産婦死亡数	4	2	3	1	0	3	1	0	0	2	0.7
出生10万対	10.4	5.5	8.1	3.1	0.0	10.4	4.2	0.0	0.0	9.5	3.0
出生10万対（全国）	8.2	6.9	6.3	5.7	4.1	3.8	3.3	2.7	2.5	4.2	3.1

（出典）厚生労働省人口動態調査、静岡県の人口動態統計の概況

\* 新生児死亡率及び2020～2022年の3年平均は人口動態調査から計算

\* 全国順位は死亡率の低い方からの順位

### (出生数の推移)

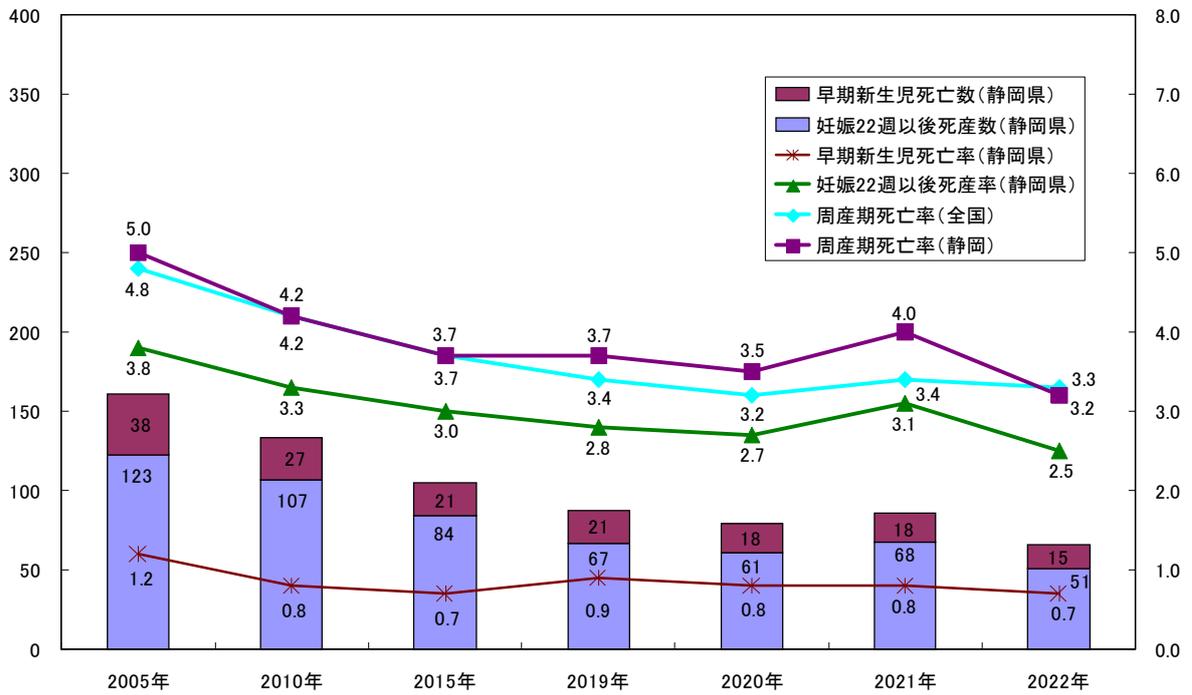
(単位：人)



(周産期死亡率)

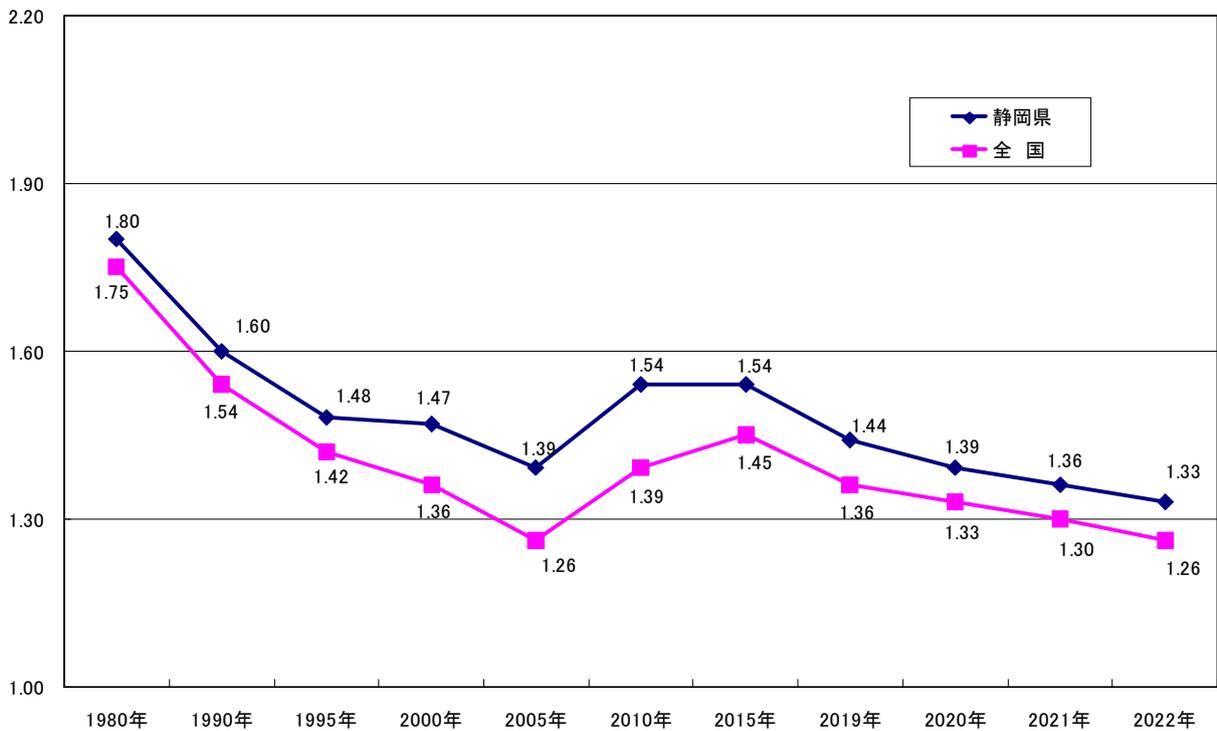
死産数・死亡数  
(人)

死亡率・死産率  
(出生千対)



(合計特殊出生率)

(単位：人)



○分娩取扱施設数

(2次保健医療圏別の分娩取扱施設数：2023年12月現在)

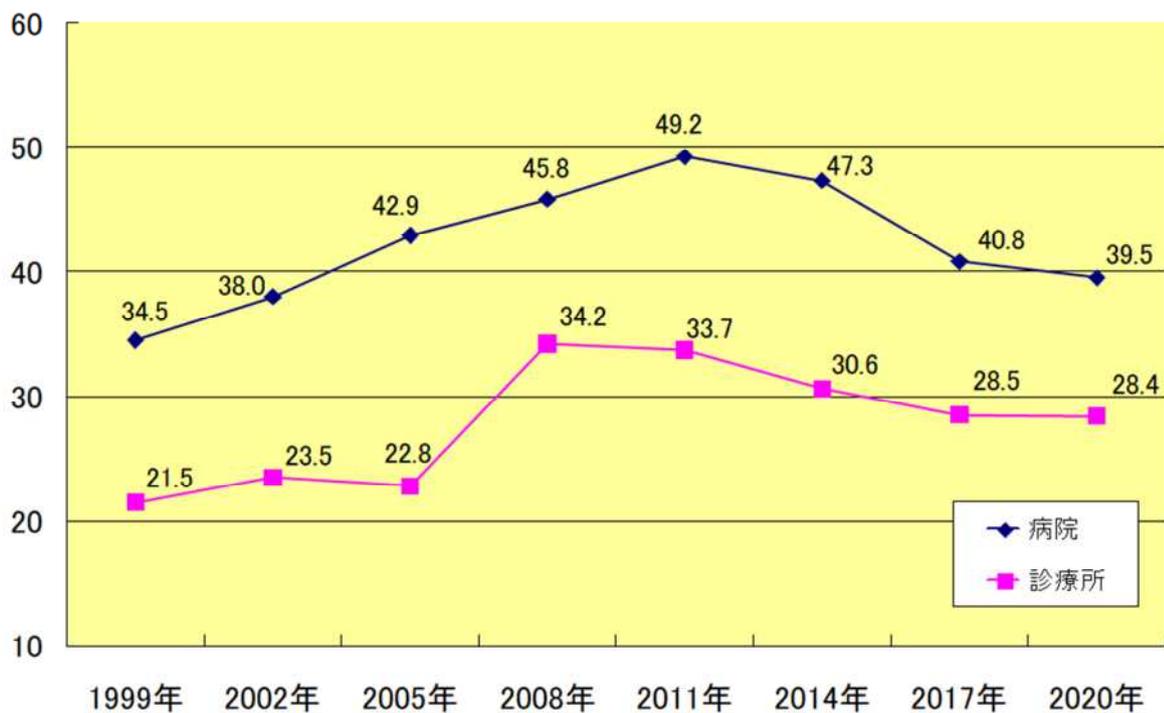
		病 院	診 療 所	助産所	計
東 部		6	14	7	27
	賀 茂	0	1	1	2
	熱海伊東	1	2	0	3
	駿東田方	3	8	2	13
	富 士	2	3	4	9
中 部		8	11	14	33
	静 岡	6	6	13	25
	志太榛原	2	5	1	8
西 部		9	10	10	29
	中東遠	3	5	7	15
	西 部	6	5	3	14
計		23	35	31	89

(分娩取扱施設数の推移) (各年度3月末現在)

区 分	1995年度	2015年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
病 院	39	28	25	25	24	23	23
診 療 所	85	46	44	42	39	38	37
助産所	17	25	27	27	28	28	32
計	141	99	96	94	91	89	92

(分娩取扱施設の1施設あたりの分娩数：1箇月あたり)

(単位：件)



(出典：厚生労働省 医療施設調査)

○医療従事者の状況

(本県の周産期医療に従事する常勤医師数、助産師数)(2023年4月現在)

地 域	圏 域	分娩を担う産婦人科医			新生児医療担当医		麻酔科医	助産師	
		病 院	診 療 所	計	新生児専任	小児担当と兼任	病 院	病 院	診 療 所
東 部		30	22	52	10	24	18	101	40
	賀 茂	0	1	1	0	0	0	0	0
	熱海伊東	3	3	6	0	1	2	2	4
	駿東田方	19	14	33	10	12	13	66	20
	富 士	8	4	12	0	11	3	33	16
中 部		56	15	71	12	40	41	161	51
	静 岡	43	10	53	12	22	38	117	30
	志太榛原	13	5	18	0	18	3	44	21
西 部		64	17	81	21	56	70	272	70
	中 東 遠	14	8	22	1	17	13	52	33
	西 部	50	9	59	20	39	57	220	37
計		150	54	204	43	120	129	534	161

※ただし、診療所に関するデータは2022年9月現在

(本県の医師総数及び産科・産婦人科医師数)

医師総数(人)

産科・産婦人科  
医師数(人)



(出典：厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師統計)

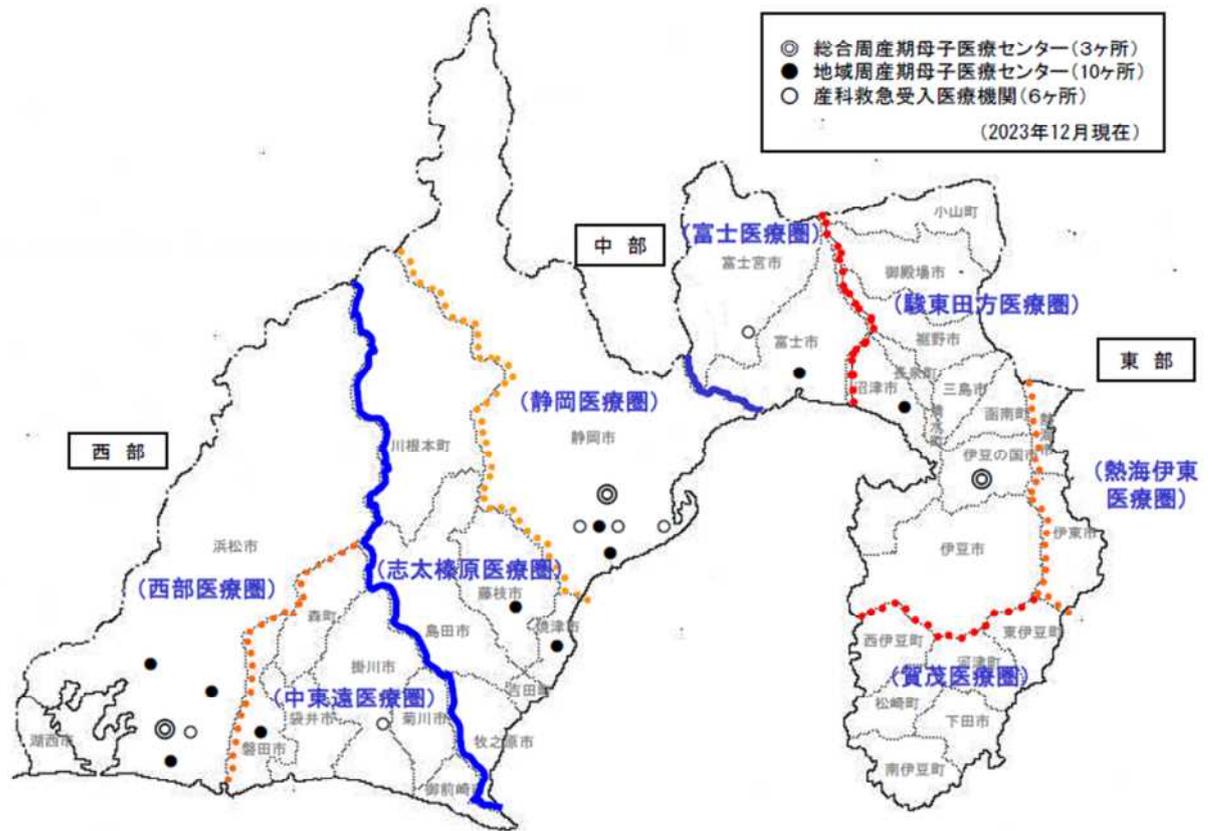
(本県の看護職員・助産師の推移)

(単位：人)

	2014年	2016年	2018年	2020年	2022年	2022年/2020年
看護職員	38,643	40,100	42,007	43,216	44,510	103.0%
うち助産師	952	952	998	976	1,085	111.2%

(出典：厚生労働省 衛生行政報告例)

○周産期医療体制  
(ブロック図)



(周産期医療ネットワークの構成機関、救命救急センター等の併設状況：2023年12月現在)

区分	1次周産期医療機関	2次周産期医療機関		3次周産期医療機関
該当施設	その他の分娩取扱施設	産科救急受入医療機関	地域周産期母子医療センター	総合周産期母子医療センター
施設数	70	6	10	3
主たる機能	正常及び軽度異常の妊娠・分娩・新生児の治療管理を実施	ハイリスク母体・胎児を常時受入れ、母体・胎児を集中管理	ハイリスク母体・胎児及び新生児を常時受入れ、母体・胎児及び新生児に対する一貫した治療の実施	高度な医療施設とスタッフを備え、常時、ハイリスク母体・胎児及び新生児の受入体制を有し、あらゆる異常妊娠・分娩及び新生児に対する一貫した治療を実施
東 部	病院 2 施設 診療所 14 施設 助産所 7 施設	富士宮市立病院	沼津市立病院 <sup>㊦</sup> 富士市立中央病院 <sup>㊦</sup>	順天堂大学医学部附属静岡病院 <sup>㊦</sup>
中 部	診療所 11 施設 助産所 14 施設	静岡市立清水病院 静岡県立総合病院 <sup>㊦</sup> 静岡赤十字病院 <sup>㊦</sup>	静岡済生会総合病院 <sup>㊦</sup> 静岡市立静岡病院 <sup>㊦</sup> 焼津市立総合病院 <sup>㊦</sup> 藤枝市立総合病院 <sup>㊦</sup>	静岡県立こども病院 <sup>㊦</sup>
西 部	病院 2 施設 診療所 10 施設 助産所 10 施設	中東遠総合医療センター <sup>㊦</sup> JA 静岡厚生連遠州病院 <sup>㊦</sup>	磐田市立総合病院 <sup>㊦</sup> 浜松医療センター <sup>㊦</sup> 浜松医科大学医学部附属病院 <sup>㊦</sup> 総合病院聖隷三方原病院 <sup>㊦</sup>	総合病院聖隷浜松病院 <sup>㊦</sup>

㊦:救急救命センター併設 ㊦:救命救急センター未併設だが、脳卒中、心血管疾患、外傷等に24時間対応

○その他関連図表

(N I C U病床数：2023年4月現在)

地 域	2次保健 医療圏	病床数 (床)	出生数 (2018~2020 平均) (人)	出生1万人あたり (床)
東 部	賀 茂	—	174	—
	熱海伊東	—	303	—
	駿東田方	12	3,789	31.7
	富 士	10	2,196	45.4
東部 計		22	6,462	34.0
中 部	静 岡	24	4,121	58.2
	志太榛原	14	2,558	54.4
中部 計		38	6,679	56.9
西 部	中 東 遠	9	2,962	20.3
	西 部	45	5,445	82.6
西部 計		54	8,407	60.7
計		114	21,548	52.9

(M F I C U、N I C U及びG C U病床数：2023年4月現在)

地 域	M F I C U				N I C U				G C U	
	診療報酬加算		診療報酬非加算		診療報酬加算		診療報酬非加算		施設数	病床数
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数		
東 部	1	6	0	0	2	22	3	22	1	18
中 部	1	6	1	4	4	38	1	6	4	40
西 部	1	15	2	9	6	54	0	0	4	38
計	3	27	3	13	12	114	4	28	9	96

(M F I C U及びN I C Uの診療報酬加算病床の状況：2023年4月現在)

地 域	医療機関名	M F I C U		N I C U	
		病床数 (床)	病床利用率 (%)	病床数 (床)	病床利用率 (床)
東 部	順天堂大学医学部附属静岡病院	6	80.1	12	97.8
	富士市立中央病院	—	—	10	37.7
中 部	静岡県立こども病院	6	31.2	15	94.0
	静岡済生会総合病院	—	—	9	93.5
	焼津市立総合病院	—	—	8	62.9
	藤枝市立総合病院	—	—	6	44.6
西 部	総合病院聖隷浜松病院	15	78.3	21	88.0
	磐田市立総合病院	—	—	6	90.8
	中東遠総合医療センター	—	—	3	75.3
	浜松医療センター	—	—	6	75.3
	浜松医科大学医学部附属病院	—	—	9	88.9
	総合病院聖隷三方原病院	—	—	9	6.1
計		27	68.2	114	74.6

(県内でNICU入院期間が半年以上に達した入院児の数：2023年4月現在)

入院期間	半年～1年	1年～2年	2年以上
入院児数(人)	5	5	2

(3次・2次周産期医療機関の産婦人科医の配置状況：2023年4月現在)

区 分		施設数 (施設)	勤務体制 (人) ※		院内の常勤産婦人科医 (施設)		
			当 直	オン コール	5人 以下	6～9人	10人 以上
3次	総合周産期 母子医療センター	3	5	2	0	1	2
2次	地域周産期 母子医療センター	10	6	12	5	3	2
	産科救急受入 医療機関	6	3	7	3	2	1
合 計		19	14	21	8	6	5

※各病院の配置人数の合計

(3次・2次周産期医療機関の麻酔科医の配置状況：2023年4月現在)

区 分		施設数 (施設)	勤務体制 (人) ※		院内の常勤麻酔科医 (施設)			
			当 直	オン コール	1人 以下	2～5人	6～9人	10人 以上
3次	総合周産期 母子医療センター	3	2	3	—	—	1	2
2次	地域周産期 母子医療センター	10	5	8	3	3	3	1
	産科救急受入 医療機関	6	—	4	—	4	1	1
合 計		19	7	15	3	7	5	4

※各病院の配置人数の合計

(寄附講座による専門医養成実績【地域周産期医療学講座周産期専門医取得者数】)

単位：人

取 得 年 度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
母 胎 児	1	—	1	1	4	1	—	3	—	2	1
新生児	—	—	—	2	1	—	—	1	—	—	2

## (周産期母子医療センターの災害対策の状況)

単位:箇所

周産期母子医療センター区分	県内の運営病院数	業務継続計画策定済	自家発電機等(発電容量通常時6割程度)を保有	左記発電機等の3日分程度の備蓄燃料の確保	3日分の病院機能を維持する水の確保
総合	3	3	3	3	3
地域	10	10	10	10	10

## (本県の災害時小児周産期リエゾン委嘱人数)

地域(※)	2023年度(人)	職種別内訳			
		産婦人科医	小児科医(※)	助産師	看護師
東 部	9	3	4	1	1
中 部	12	4	6	1	1
西 部	12	3	6	2	1
計	33	10	16	4	3

※地域別人数は災害時小児周産期リエゾンの平時の勤務先所在地に基づき集計

※小児科医の医師数には新生児医療担当科の医師数を含む

## (妊婦健康診査及び産婦健康診査実施機関数:2023年9月現在)

区 分	病 院	診 療 所	助産所
妊婦健康診査	34	95	30
うち 多胎妊娠の健診に対応	22	45	—
産婦健康診査	28	77	31

## (産後ケア事業実施機関数:2023年3月現在)

区 分	病 院	診 療 所	助産所
うち 短期入所(ショートステイ)型	12	21	25
うち 通所型(デイサービス)型	10	25	48
うち 居宅訪問型(アウトリーチ)型	5	4	74